

日韓トンネル推進東京大会 まず両国国民の信頼醸成を

許文道元韓国統一院長官

九州北部と韓国東南部を結ぶ日韓トンネルの建設を推進しようという東京大会(主催、同実行委員会)が7日夜、都内のホールで開催され、500人を超える参加者がトンネル実現をうたう決議を行った。

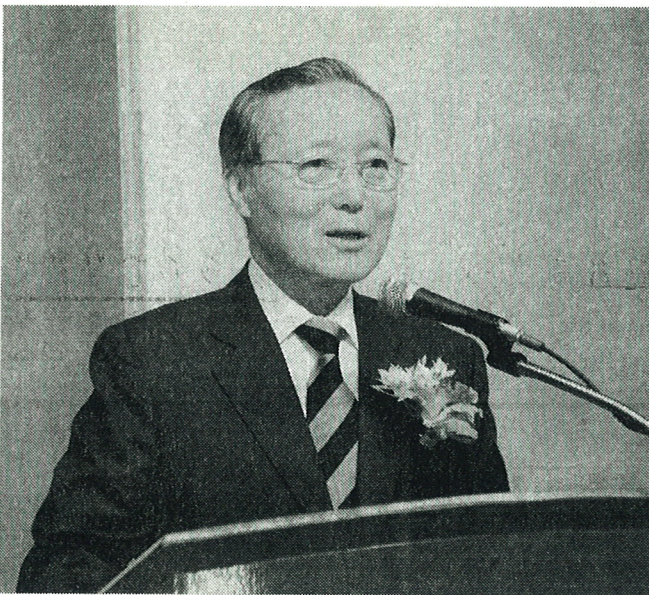
大会では、清水馨八郎千葉大学名誉教授、梶栗玄太郎国際ハイウェイ財団会長、村岡邦男元駐パキスタ

ン大使による挨拶に続き、許文道元韓国統一院(現統一省)長官が記念講演を行った。

許元長官はまず、「トンネルを掘ることは今より密

接な関係になることを意味するが、韓国の一般の人々は長い歴史体験を通してそうは思っていない」としながら、トンネル建設に先立ち両国国民の心のトンネルを掘って信頼関係をつくることが必要だと強調した。また、今年世界第2の経済大国になる中国が今後、覇権国家になる可能性を指摘しながら、「中国の隣で韓日が国家的な自主性を維持するためには力を合わせるしかない」と述べ、その「最

も具体的なプロジェクトは韓日トンネルだ」と力説した。



日韓トンネル推進東京大会で記念講演する許文道元韓国統一院長官。7日夜、東京・千代田区の新大塚ホテルで開かれた。